



水銀条約の制定 ~ 2020年以降、条件を満たさない水銀灯が使えなくなります



2013年から

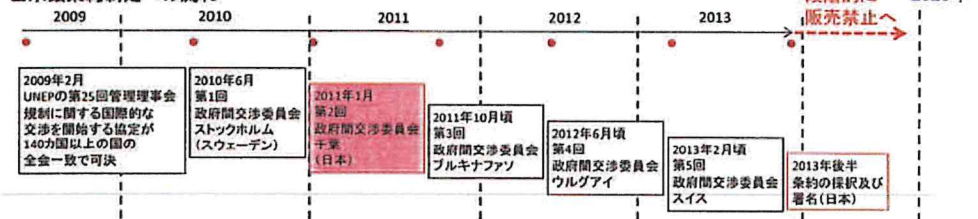
国連が「水銀生産」や「輸出」を規制

今後数回の協議を踏まえて、2013年秋に日本で開く国際会議で署名・採択を予定

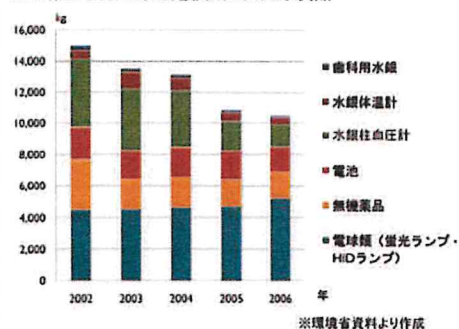
蛍光灯などの照明(水銀灯、メタルハライド、セラミックハライド)、電池、計測器、スイッチ、虫歯治療材の主要製品5種の製造、販売、流通、輸出を原則禁止。

2020年以降条件を満たさない水銀灯が使えなくなる。

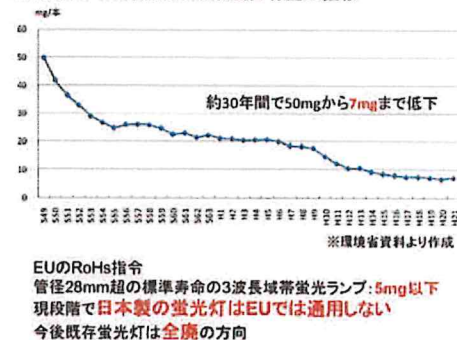
■水銀条約制定への流れ



■日本において水銀を使用した主な製品



■蛍光灯1本あたりの水銀含有量の推移



■国連の水銀レス会議 水銀条約制定へ!

国連会議にて日本がサインした時から公共事業は水銀禁止。

■EUではRoHS規制 2012年7月から水銀完全撤廃

RoHSは、電子、電気機器における特定有害物質の使用制限についての欧州連合(EU)による指令。

■国内照明は95%が水銀を使用

5mg以下の水銀使用は許可(AC100Vの蛍光灯型電球10W以下の製品のみ) 従来の照明は殆どが5mg以上の水銀を使用。

■水銀灯生産中止でメタハラに移行?

メタハラも水銀灯です。(消費電力30%削減)